

Social and Cultural Diversities in Nepal

ネパールにおける社会的、文化的多様性について

Mr. Yuba Raj Guragain さん

今回のスピーチはネパールからの留学生 Yuba Raj Guragain さん。この国は中国とインドに挟まれ、北側はヒマラヤ山脈、南側は平原が広がり、古くから多様な文化と社会を育んできました。仏陀生誕の地であり、日本人にも親しみを感じさせる国。グローバル化が進む中で変化が起きている様子を含めて、この国の多様でユニークな魅力を要旨、以下のように語っていただきました。



ユバさんはネパールの国家公務員で、現在、立命館大学で国際関係学を勉強中。2017 年に来日以来、IN のアウトティング、例会スピーチ、Year-end party などに積極的に参加して頂いています。

社会

グローバル化・国際化の中で、個人主義的、契約優先的、利益追求型の波が押し寄せている。旧来型社会が良いか、現在的な新しい社会が良いか、が問題になる。最近、ストレスから逃れるなど精神の健康のための Mindfulness というプラクティスがネ

プレゼンテーションの中身は「社会」、「文化」、「観光」、「災害」、「ソーシャル・サービス」、「ネパールと日本との関係」について。

ネパールという国

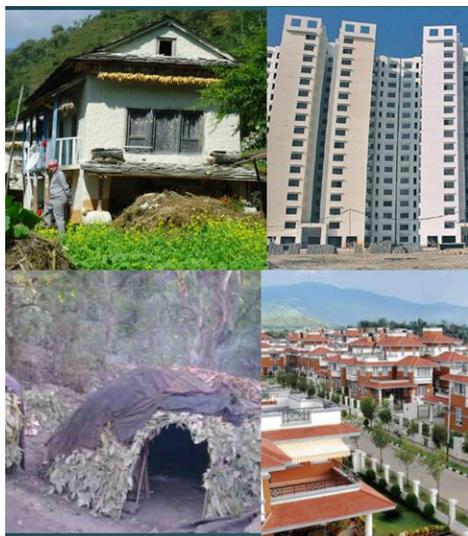
ネパールは内陸国であり、もともと、集団で暮らす思いやりのある牧歌的な生活が中心であるとして、田舎で大勢の人たちが一緒にお祭りを楽しむ風景や女性たちによる田植えの様子、山岳地帯では牛に似たヤクが長い列をつくって荷物を運ぶ姿をスライドで紹介。丘陵地帯では移動手段に単発エンジンの小型飛行機を使うことが多いが霧が発生しやすいので結構、危険を伴う。平原地帯はインドに接しており人の移動が多い。



山間部では小型飛行機で移動することが多い

パールでも注目され、研究されている。

ユバさんは、現代的な高層の集合住宅、新興の住宅街、一軒家、石造りの洞窟



のような家の4つの住居写真を示し、会場の出席者に「あなたならどの家に住みたいですか?」と問いかけました。そして、「自分なら被害が少なく、建て直しが簡単な洞窟風の家＝写真左下＝が良い」と話し、ネパールでは地震、土砂崩れなど自然災害が多いことを説明しました。

文化

ネパール人の結婚はお見合いが多いが、最近恋愛も増えている。ヒンズー教のお見合い結婚では新郎、新婦は神に誓いをする。新郎は「私はあなたを大切にし、あなたと子供たちのために繁栄と幸福を約束します」など。新婦は「家庭と家族、食事、家計に責任を持ちます」などと誓う。結婚式には200～300人が参加する。多い場合は1000人を超える式もある。

郎は「私はあなたを大切にし、あなたと子供たちのために繁栄と幸福を約束します」など。新婦は「家庭と家族、食事、家計に責任を持ちます」などと誓う。結婚式には200～300人が参加する。多い場合は1000人を超える式もある。

文化の一つとして、心の平安と癒しのための om の詠唱がある。背筋を伸ばしヨガのポーズを取り、リラックスして息を吸いながら5つ数えて止め、3つ数えながらゆっくり吐く。AAAAAA…UUUUU…MMMMM…と唱える。これを21回繰り返す。神聖で神秘的なものという。

誕生から死までの儀式としては“洗礼”や命名式、結婚、葬式(13日間)などを紹介しました。

仏陀はネパールで生まれ、瞑想と知恵を求めてインドに行き、インドで仏教が広がった。これがネパールでは Dhaynn Buddhism となり、中国では Chan Buddhism、日本では Zen Buddhism などに発展していったとされる。

ネパールで最多のヒンズー教の儀式ではシバ神を崇めて、「シバの夜」にはマリファナを吸う。牛、鳥、犬など動物に感謝し祈る。人に対しては年長者を敬う。断食の前後の日はたくさん食べ過ぎてしまう人がいる。

瞑想は自分自身の悟りに繋がる。「自分」とは体の部分のことではなく、肉体

的存在ではないと考える。また、死後の世界については差別・区別がなく平等の世界、魂は不滅で輪廻転生がある、と考える、などと説明しました。

観光

ゾウに乗ってサイやカバなどの野生動物を観察する「アドベンチャーとジャングルサファリ」、登山・山歩き＝写真右＝、文化や宗教遺跡巡りが楽しめる。



災害

ネパールでは洪水、地すべり、地震、干ばつが起きる。2015年4月の地震では高い塔が倒壊してしまった。気候変動がヒマラヤの氷河の3分の2を溶かす恐れがある、と心配されている。

ヨガとジム。ジムは肉体的な健康を求めるもので、ヨガは内面的なものを追求する。愛と献身を目指す bhakti yoga、知的な探求を目指す jnana yoga、瞑想を目的とする raja yoga、さらにストレスを除いて、糖尿病や血管系の不調を予防・治療するものなどがある。座り方や手の動き、呼吸の仕方などに違いがある。

ソーシャル・サービス

エネルギーは電気、LPG ガス、石油を使うが薪を使うところも多い。電力は水力発電が基本。教育面では学校は無料。医療も基本的な一次医療は無料。水は豊富だが全体に安全な飲料水には適していない。

料理は薪とガスを使う。主な市街地へのアクセスは危険を伴う。電話はモバイルフォンを使用する。交通は山間地ではロバ。

ネパールと日本

河口慧海（仏教学者・探検家）という人物が1899年、ネパールを訪れている。この国を訪れた最初の日本人で、その肖像が2002年に発行されたネパールの郵便切手に描かれている。

Junko Tabei



また、田部井淳子が 1975 年、女性として世界で初めて、世界最高峰のエベレスト登頂に成功している

ネパールと日本は 1956 年、国交を結んだ。日本はインフラ整備などに協力し、両国は多くの姉妹都市提携をしている。

以上